

縣社大野湊神社千二百年祭記事

縣社大野湊神社千二百年祭記事

一 祭典ノ來因

本社佐那武大神(猿田彦神)ハ由緒傳フル如ク聖武天皇神龜四年ニ勸請スル所ニシテ今ヲ距ル實ニ一千百七十八年ナリ然レトモ其天照皇太神ノ社ハ其以前已ニ鎮座アリシモノニシテ其根元今知ルニ由ナシ而シテ聖武天皇天平元年官社ニ列セラル即チ延喜式神名帳載スル所大野湊神社是ナリ當時本社ハ今ノ地ヨリ西ノ方八町ヲ距ル竿ノ林ニアリシカ後深草天皇建長年中社頭炎上シテヨリ今ノ地ヲトシ新宮ヲ造營セラレタリ元弘年中後醍醐天皇綸旨ヲ下シ給ヒシニヨレハ當時皇室ノ尊崇アリシヲ知ルベシ例祭ハ毎年二月十五日ニ祈年祭ヲ行ヒテ神輿ノ巡行アリ四月十五日ノ祭禮ニハ神前ニ於テ舞樂ヲ奏シ六月十五日祭ニハ海濱ニ渡御アリテ七日間名越ノ穝ヲ行ヒ八月十五日祭ニハ五穀ノ豐穰ヲ祝シ社内ニ於テ流滴馬ノ興アリシト云フ以テ其盛ナリシヲ見ルヘシ降リテ長享二年國司富樫氏滅亡ヨリ元龜天正ノ兵亂ニヨリ殆ント荒廢ニ歸セシカ天正十四年國守前田利家公本社ヲ再興セラレシヨリ世々ノ太守或ハ戰勝ヲ祝シ或ハ豐年ヲ祈リ復タヒ古典ヲ隆興セシメ且近郷十五箇村ヲ氏子ト定メ社領ヲ附シ社殿ノ修營ヨリ祭祀ノ事ニ至ルマテ悉ク有司ニ命シ處理セラレ例祭ハ四月十五日ニハ神前ニ能樂ヲ奏セラレ六月十五日ニハ海濱ニ渡御アリテ名越ノ穝ヲ行ハセラル、等嚴肅壯重ニ施行セラレタリ而シテ明治維新ノ後ハ縣社ニ列セラレ氏子中上金石町ニ於テ僅ニ舊態ヲ維持シ舊典ヲ繼紹スルニ至レリ又年期祭ノ如キハ舊記詳ナラスト雖モ蓋シ古來五十年毎ニ本社ニ於テ三七日間盛大ナル臨時祭ヲ行ハレシ慣例ニシテ其安永四年六月十八日ヨリ七日間

臨時祭ヲ行ハレシハ一千五十年祭ナリト云フ

二 祭典ノ發起及事務員

本社年期祭式ノ久シク典ヲ闕キシヨリ近年ニ至リ閭閻甲唱乙和終ニ輿論トナリ今茲明治三十四年四月有志ノ徒神社惣代ニ就キ年期祭舉行ノ事ヲ促セシヨリ時ノ町長赤土亮氏ニ稟請シ本町各字ヨリ惣代者ヲ召集シ協議ノ末本年夏季例祭ノ候ニ於テ本社創立一千二百年祭ヲ舉行スヘキ事ニ決シ各字町ヨリ祭典委員ヲ撰出シ數回ノ協議ヲ經テ終ニ其趣旨方法ヲ定メ事務所ヲ秋葉社内ニ設ケ事務員ヲ撰擧シテ萬般ノ準備ニ從事セリ

大野湊神社千二百年大祭執行趣意書

我カ大野湊神社ハ猿田彦命ヲ奉祀スル處ニシテ

聖武天皇神龜四年ノ創始ニ係リ延喜式神名帳ニ加賀郡大野郷大野湊神社トハ則是ナリ今ヤ一千二百年ニ當リ同社氏子町村有志相謀リ一大祭典ヲ舉行セント欲ス

抑 命ハ我邦草創ノ時 天孫ニ先導シ給ヒシ神ニシテ國民舉テ尊敬スル所況ンヤ本社ハ一千二百年ノ昔靈異ニヨリテ奉祀セラレ 歴代皇室ノ尊崇アリシ所ニシテ已ニ 後醍醐帝ハ繪旨ヲ下シ給ヒ下リテ國介富樫氏國守前田候世々祭祀ヲ怠ラス特ニ前田家ニ在リテハ藩祖高德公以來社殿ヲ修營シ社領ヲ附シ毎歲祭祀ヲ行ヒ 神前樂ヲ奏スル等例トナシ舊藩士民舉テ崇奉セシ所維新後縣社ニ列セラル今ヤ恰モ創立一千二百年ニ遭フ實ニ稀有ノ事トス之ニ依テ博ク四方ノ協賛ヲ得テ盛ニ祭典ヲ舉行シ以テ 神靈ヲ慰セントス冀クハ同感ノ諸彦幸ニ力ヲ致シ資ヲ助ケ以テ此舉ヲ完成セ

シメラレンコトヲ其舉行ノ次第ノ如キハ左記細規アリ請フ之ヲ諒セラレンコトヲ

縣社大野湊神社

社 務 所

明治三十四年四月

寄附者待遇等規程

一本社創建一千二百年大祭ハ明治三十四年七月廿九日ヨリ同月三十一日ニ至ル三日間トス但シ引續キ二日間例祭ヲ行フ

一大祭並ニ例祭中ハ神輿上金石濱 御座所へ出御ノ事

但七月廿九日午前出御八月二日還御

一大祭式典ハ七月廿九日ヨリ向三日間 御座所ニ於テ執行ノ事

一祭典ノ爲メ金員ヲ寄附セラル者ニハ左ノ區別ニヨリ徽章並ニ紀念品ヲ贈與ス

- 一等 金糸房金色須天徽章 金百圓以上
- 二等 同 扇子上 銀杯 金五十圓以上
- 三等 同 扇子上 木杯三ツ組 金三十圓以上
- 四等 同 扇子上 木杯 金拾圓以上
- 五等 紅糸房同上 扇子 金五圓以上

六等

紫系房銀色徽章

金三圓以上

四

七等

綠系房同上

金貳圓以上

八等

打猪揚卷結白色徽章

金壹圓以上  
金貳圓未滿

一四等以上ノ寄附者ニハ七月廿九日式場側宴會場ニ於テ神饌ヲ贈呈スヘキニ付當日出會ノ事

一餘興ハ能樂、擊劔、相撲、烟火、芝居、端艇競走等ヲ催ス

一徽章ヲ携フル者ニハ式典ノ參列ヲ許シ尙神庫ノ寶物等觀覽ノ便ヲ與フ

一寄附金ハ上金石町秋葉社内大野湊神社千二百年祭典事務所ヘ納入ノ事

一 大祭事務員ノ分掌左ノ如シ

一 總務委員

町長 赤土 亮

助役 幸村 淳三

氏子惣代中崎與四右衛門

全 達田平兵衛

全 湊 傳右衛門

全 古酒市兵衛

全 一丸太四郎

全 濱坂三右衛門

二 會計係

安宅 又吉

橋場忠兵衛

櫻井作太郎

三 庶務係

畝 一一平

廣瀬 三郎

上田孫太郎

金谷 喜平

岡田太兵衛

沖津宇兵衛

能木場 與兵衛

鶴見久四郎

眞鍋七太郎

四 接待係

小竹道四郎

沖 彌一郎

鷗山仁右衛門

岡田庄次郎

松田 與作

清水與三八

野崎與三兵衛

安原徳右衛門

笠井 佐助

達田重兵衛

加納 勘吉

長沖吉兵衛

眞鍋七太郎

藤井久太郎

藏 安兵衛

唐 三郎

五 評議員

安宅與三郎

相川 小作

櫻井作太郎

安宅次三郎

若杉 新吉

小竹道四郎

岡田八市郎

若杉 新吉

音 與三郎

六 神輿供奉係

辻 文次郎

若杉 新吉

岡田八市郎

相川 小作

安宅與三郎

鍵 吉右衛門

相川長左衛門

角 長次郎

觀田次郎吉

池森 與作

八田 久七

野崎木工三郎

米谷 米次

畝 清太郎

畑 久四郎

宮鍋源太郎

米澤長太郎

中谷彌三太郎

宮島權次郎

勝見喜太郎

西川政二郎

扇能長次郎

達見三右衛門

五

岩見次郎吉	吉井伊三郎	松田伊三郎
木谷與兵衛	板谷安右衛門	針田傳次郎
瀨木喜兵衛	押野久七	宮島德次郎
番匠宗八	番匠宗吉	櫻井伊兵衛
八田市三郎	矢田太平	林益太郎
酒井六右衛門	安達吉太郎	井波伊兵衛
清水三次郎	井村與三松	相越彌平
加藤與兵衛	寺西次郎吉	花谷吉平
越長三郎	松前新右衛門	神谷權太郎
赤崎安平	梅田三吉	赤土善太郎
玉井與三郎	戸水六兵衛	藤川次郎吉
堀井與三郎	河合辰太郎	幸村喜右衛門
嶋谷源之丞		
安宅次三郎	名里彦三郎	花谷吉郎兵衛
桶又四郎	寺尾長次郎	長沖與左衛門
村上八郎右衛門	藤野伊兵衛	上田善六
新村勘右衛門		

七 會計係補助受納方

又特ニ神寶物展覽會及貴賓接待ノ事ヲ左ノ人々ニ委嘱セリ

梅原讓	中山一衛	山本謙齋
伊達文右衛門	岡田太兵衛	山岸善太郎
小竹道四郎	清水與三八	野崎與三兵衛
小原恒貞		

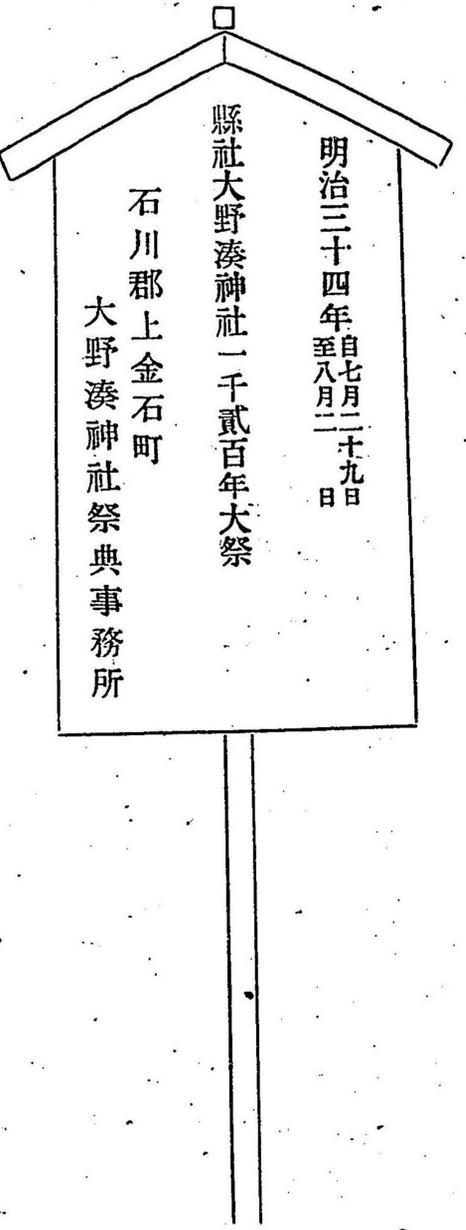
三 祭典ノ準備

既ニ祭典舉行ノ事ヲ發表シタルハ惣務委員ヲ始メ庶務會計評議員等ハ時々會議ヲ開キテ方法順序ヲ計畫シ經費ノ豫算ヲ定メ準備ノ事務ヲ分掌セリ其項目大凡左ノ如シ

- 一 神社修繕ノ件
- 二 神器祭具等修理及新調ノ件
- 三 諸願届照會往復ノ件
- 四 祭費募集ノ件
- 五 祭式ニ關スル件
- 六 神庫寶物舊記調査整頓ノ件
- 七 神寶物展覽場ノ件
- 八 假祭場設備ノ件
- 九 神輿渡御儀仗及諸興行餘興ニ關スル件

- 十 招載人接待及寄附者待遇ニ關スル件
- 十一 祭禮中非常警戒及風紀取締ニ關スル件
- 一 神社ハ從來舊藩ニ於テ建築修理セシ所ニシテ殿宇宏壯ニ裝飾備ハラサルナキモ廢藩ノ後今ヤ數十年其間外部ハ時々小修繕ヲ加ヘ來リシモ本陣ノ如キ久シク修理ヲ廢セシニヨリ此時ヲ機トシ戸壁御帳疊等悉ク改修セリ
- 二 其他神輿隨神ヲ始メ旗子鏡劍等ノ神器祭具裝束ニ至ルマテ諸工人ニ命シテ或ハ修理シ或ハ新調セシム其新調ニ係ルモノ多クハ現品ヲ以テ信徒ヨリ寄附スルコト、ナレリ而シテ神器祭具ニシテ西京ニアラサレハ調進シ能ハサルモノアリテ此等ハ一ニ梅原讓氏ノ盡力ニヨリ同地ニ購入スルコト、ナレリ
- 以上二件ハ主トシテ氏子惣代即チ惣務委員ノ擔任ニヨリテナレリ
- 三 願届照會等ノ件ニ就テハ主トシテ庶務係之ニ任セリ其一ニテ左ニ錄シ其他ノ往復書類ハ之ヲ畧セリ

一 揭示札ハ左ノ如ク認メ金澤驛停車場前淺野川橋爪犀川大橋及金石町郊端ニ掲ルコト、セリ



願書ハ左ノ如ク認メ金澤停車場及淺野川橋爪ニ關シテハ金澤警察署新町分署へ犀川大橋ニハ金澤警察署へ上金石町郊端ニハ金石警察署へ出願シ其許可ヲ得タリ

揭示札建設願

石川縣石川郡大野村字寺中鎮座縣社大野湊神社千貳百年大祭本年 自七月二十九日 至八月二日 五日間執行致度候ニ就テハ右執行方廣告ノ爲メ金澤市淺野川大橋爪並ニ金澤停車場前ニケ所ニ揭示札建設致度尤公衆交通ノ妨害ト不相成様注意可致候間御許可被成下度別紙圖面相添此段奉願候也

石川縣石川郡上金石町字本町貳番地  
縣社大野湊神社祭典委員

明治三十四年六月 日

赤土亮印

金澤警察署

新町分署御中

(圖面及他ノ願書ハ畧ス)

願之趣許可ス

明治三十四年六月十一日

金澤警察署新町分署印

社司河崎常男等ヨリ五月二十七日附祭典ニ付寄附金品及神供米募集ノ義左ノ通出願ノ上指令ヲ得  
タリ

寄附金及神供米収集許可願

石川縣石川郡大野村字寺中鎮座

縣社 大野湊神社

右大野湊神社神輿石川郡上金石町字今町海岸へ出御本年七月二十九日ヨリ向五日間臨時祭執行  
候ニ付神供米及寄附金氏子各戸ヨリ收集致度候間御許可相成度就テハ明治三十三年石川縣令第  
百九號ニ基キ別紙事項書相添此段奉願候也

石川郡大野村字寺中鎮座

縣社大野湊神社々司

河崎常男

氏子惣代

濱坂 三右衛門  
湊 傳右衛門  
達 田平兵衛  
古 酒市兵衛  
中崎與四右衛門  
一 丸太四郎

石川縣知事野村政明殿

事項書

一 募集ノ目的

縣社大野湊神社臨時祭執行ニ付氏子一統ニ就キ神供米及寄附金ヲ收集シ以テ祭典費ニ充ル  
モノトス

二 募集ノ方法

寄附金及神供米壹升貳合入壹升入八合入袋ヲ調製シ氏子各戸ヨリ任意ノ收集ヲナスモノト  
ス

三 募集ノ區域

石川郡上金石町、大野町、大野村、二塚村、戸板村、安原村、米丸村其他金澤市(上金石出身ノ  
者ニ限ル)

五 募集ノ期間

明治三十四年五月二十九日ヨリ全年八月三十日迄ニ收集スルモノトス

六 募集従事人

- 社司 河崎常男
- 石川郡上金石町字番地
- 櫻井作太郎
- 若杉新吉
- 小竹道四郎
- 岡田八市郎
- 安宅與三郎
- 相川小作

右之通り候也

石川縣指令保第二二八七號

石川郡大野村字寺中

大野湊神社々司

河崎常男

明治三十四年五月廿七日附願寄附金及神供米募集ノ件許可ス

明治三十四年五月三十一日

石川縣知事野村政明印

同大祭ニ付神輿渡御及還御ノ節神輿巡行願左ノ通出願許可ヲ得タリ

神輿渡御願

縣社大野湊神社千二百年慶賀祭執行候ニ付本月廿九日當社ヨリ上金石町往還ヲ通り上金石濱假殿へ如古例神輿渡御致シ候間御認可被下度此段奉願候也

明治三十四年七月廿三日

縣社大野湊神社々司

河崎常男印

縣社大野湊神社々掌

河崎豐太郎印

石川縣金石警察署御中

願之趣許可ス

明治三十四年七月廿四日

金石警察署印

神輿巡行願

縣社大野湊神社例祭執行ニ付來ル八月二日終日如古例上金石町全町神輿巡行致候間御認可被下度此段奉願候也

明治三十四年七月廿三日

縣社大野湊神社

- 社司 河崎常男印
- 社掌 河崎豐太郎印



石川縣金石警察署御中

願之趣許可ス

明治三十四年七月廿四日

金石警察署印

四

祭費募集ノ件ニ付テハ各委員協議ノ上豫算ヲ定メ大凡金貳千圓ヲ本町各字へ課賦スルコト、シ其他近郷町村及本町出産ノ人ニシテ他府縣ニアル者ヨリ寄附ヲ仰クコト、シ町村長區長等へ宛趣意書ニ依頼書ヲ附シテ配付ノ上左ノ如ク受持區域ヲ定メテ募集委員ヲ派セリ又在他府縣ノ者へハ各其親戚知音ノ人ニ通知方ヲ依頼シ尙各地方ニ於テ有志ノ盡力ヲ請ヒタリ

町村字

派出員

金澤市各町

角長次郎

松田余作

一丸太四郎

濱坂三右衛門

達田平兵衛

湊傳右衛門

池森與作

大野村字寺中

角長次郎

濱坂三右衛門

全無量寺

岡田太兵衛

池森與作

全畝田

若杉新吉

桶又四郎

全藤江

畝仁平

花谷吉郎兵衛

全松村

赤土善太郎

松田余作

全觀音堂普正寺

櫻井作太郎

河崎常男

花谷吉郎兵衛

二塚村字專光寺

勝見喜太郎

櫻井鐵太郎

全專光寺新

宮島德次郎

鶴見久四郎

安原

戸水六兵衛

相河長左衛門

二塚村字中野

河崎豐太郎

別川七左衛門

全北笹塚

橋場忠兵衛

一丸太四郎

二塚村字古保

中崎與四右衛門

相河長左衛門

全保古

玉井與三郎

倉部三太郎

全黒田

平田庄次郎

河崎豐太郎

全太耶田

赤土善太郎

沖七兵衛

戸板村字示野中

池森與作

松田余作

全示野

桶又四郎

音甚兵衛

全櫻田

岡田太兵衛

若杉新吉

二塚村字袋島

名里彦三郎

能崎木丁三郎

全赤土

河崎常男

達田平兵衛

全二ツ寺

湊傳右衛門

古酒市兵衛

大野町

櫻井作太郎

其他々府縣ニ在リテ寄附金取纏方ニ盡力セシ人々ハ左ノ如シ

- 京都府 辰己源助 長谷川與八
- 大阪府 中野與吉 紙野茂八
- 北海道小樽 中崎與四右衛門支店  
副支配人 橋場彌三郎 八田與作 山森次三郎
- 同 箱館 及能仁三郎
- 同 岩内 寺西安次郎
- 同 羽幌 荒谷作次郎
- 五 祭式ニ關シテハ河崎社司同社掌ニ於テ古式ニ徵シ又近年各神社ニ行ハレシ年期祭ノ典例ニ考ヘ祭式ノ次第順序神輿ノ供奉儀仗ヲ定メ祭官招聘ノ事ヲ處辨セリ
- 六 神庫寶物及舊記調査ニ關シテハ河崎社司ヲ始メ氏子惣代等ニ於テ神庫所藏ノ古書等ヲ調査シ猶古昔本社ニ傳ハリシモノ、諸方ニ散逸セシモノヲ搜索シ古來本社ニ緣故アリシ家ニ就キ可及的其書類等ヲ蒐集シ更ニ神寶物展覽係員ニ於テ之ヲ整頓セリ
- 其他(七)神寶物展覽場ノ設備(八)假祭場ノ建築(九)神輿渡御ノ儀仗及餘興ニハ擊劍、能樂、相撲、端艇競漕、煙火、芝居等若干ノ補助金ヲ附シテ各主任者ニ於テ其準備ニ取掛リタリ
- 十 招戴人待遇及寄附者待遇ニ關スル件

本社ハ古來前田侯爵家ニ緣故深キヲ以テ本年七月侯爵前田利爲公ノ來澤ヲ幸トシ町長赤土亮氏町民ヲ代表シ本社大祭ニ臨マレンコトヲ請ヒシモ奈何センセン同公ハ修學中ニアリテ滯澤

ノ日數限リアルヲ以テ納レラレス是ニ由リテ更ニ支家舊大聖寺侯子爵前田利墜公ハ已ニ舊封地ナル大聖寺ニ在住セラル、ヲ以テ接待員中山一衛、小竹道四郎ヲ派シテ其來臨ヲ請ヒ併セテ舊藩老八家タル男爵及前田侯爵家用辨方松平康保氏ヲ招戴シ其待遇方ヲ準備セリ

其他寄附者ノ待遇方ニ付テハ金銀木杯參拜徽章扇子及神饌ノ手當ハ亦接待員ニ於テ準備セリ

十一 祭禮中非常警戒ニ關シテハ金石警察署ニ於テ署員ヲ増シ各町ニ派シテ警告シ消防組員ハ晝夜警戒ニ從事セリ殊ニ風紀ニ關シテ從來ノ弊習トシテ夏季祭禮ニハ醜態ナル催シヲテ市中中ヲ徘徊シ殊ニ神輿ノ巡行ニ際シ混亂雜踏ヲ極メシ如キハ實ニ敬神ノ意ニ戾レルヲ以テ豫シメ各町ニ於テ偏チク警告セシヲ以テ祭禮ノ始終嚴肅壯重ニ行ハレシハ將來ニ好個ノ慣例ヲ啓キタリト云フヘシ

四 祭典ノ始終

一 祭典ハ七月二十九日ヨリ八月二日マテ上金石海濱ニ於テ行ハル其前三日間ハ一千二百年臨時大祭ニシテ後二日間ハ夏季例祭トス

大祭施行ノ神官等左ノ如シ

- |     |         |     |          |
|-----|---------|-----|----------|
| 齋主  | 社司 河崎常男 | 副齋主 | 社掌 河崎豐太郎 |
| 典禮  | 社司 厚見眞幸 | 同   | 社司 葛城慎太郎 |
| 傳供長 | 社司 高島信之 | 傳供  | 社司 厚見祐次  |
| 同   | 社司 高井濟好 | 同   | 社司 長谷喜代丸 |

同	社司 厚見武太郎	同	社司 鏞木麻佐岐
同	社司 加藤三男太郎	同	社司 加藤千代松
同	社掌 宮川文太郎	同	社掌 村上清三郎
同	社掌 延村久見	同	社掌 高山民江
同	社掌 金森喜久男	同	社掌 大井喜久雄
伶人	五人	乙女	三人
神役	十六人		

第一日 七月二十九日 午前二時 神靈奉移ノ式アリ本社ヨリ拜殿ニ至ルノ間盡ク白布ヲ敷キ社司社掌其他神官參列シ氏子惣代等徹夜殿内ニ參拜シ例ノ如ク稜ノ式等アリテ 神靈ハ神輿ニ奉移シ天明ニ至ルマテ神樂ヲ奏セリ午前八時號砲ヲ相圖ニ神輿供奉ノ人々ハ神社ニ參集ス九時ノ號砲ニテ祭式ヲ始メ十時ノ號砲ニテ神輿出御アリ是ヨリ着御及祭式ノ始終凡テ號砲ヲ以テ報シタリ

此日天氣晴レ渡リ參拜ノ人衆遠近來集シ神社ヨリ順路海濱祭場ニ至ル間往來堵ノ如ク神輿ノ渡御ヲ迎ヘ各町ヨリハ山車、旗、太鼓、獅子、囃子等出テ、神輿ヲ奉迎シタリ

當朝神社ニ於ケル祭式ノ次第左ノ如シ

一 早旦神職神殿ヲ裝飾ス

午前九時齋主以下着座

次ニ稜主稜ノ事ヲ修ス

次ニ齋主神前ニ進ミ拜禮畢テ復座

次ニ傳供長以下神饌ヲ供ス(此間奏樂)

次ニ齋主祝詞ヲ奏ス

次ニ齋王玉串ヲ奉リ拜禮

次ニ社掌拜禮

次ニ傳供長以下神饌ヲ撤ス(此間奏樂)

次ニ齋主拜禮畢テ復座

次ニ御發輿(此間奏樂)

右祭式畢リ號砲ニヨリテ供奉ノ順序ヲ整ヘ途上靜肅ニ渡御アリ路傍拜スル者雲集セリ神輿渡御ノ儀仗左ノ如シ(附圖參照)

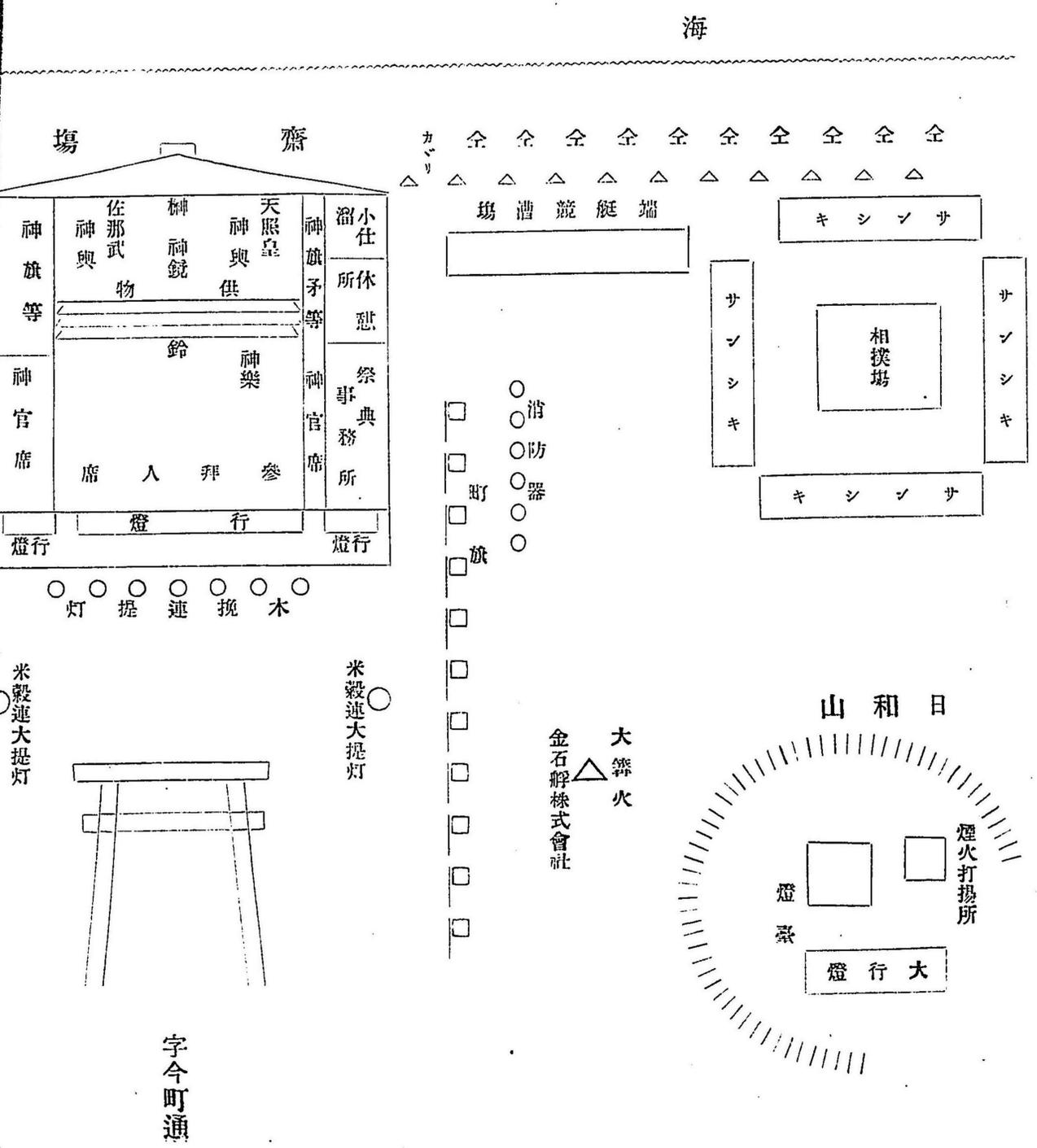
- 警護消防一部 冬瓜町太鼓 白丁五人 太鼓 白丁三人 帶 白丁一人 縣社記名旗 白丁一人 町村長 禮服
- 町村役場吏員 禮服 町村會議員 禮服 町村各字區長 各町村有志者 軍人團 禮服 學友會員 禮服
- 各町氏子總代 禮服 發起者 禮服 式年祭委員 禮服 木馬 白丁三人 輪棒 白丁一人 氏子惣代 直垂 全上
- 全上 全上 前驅祭官 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人 大麻 神役一人 祭官 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人
- 丁一人 四神旗 白丁一人 劍梅鉢旗 白丁一人 全上 全上 眞柳 白丁六人 神役一人 神寶辛櫃 白丁二人 神
- 役一人 神寶辛櫃 白丁二人 神役一人 祭官 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人 伶人祭服 全上 全上 全上
- 上 御旗 白丁一人 神役一人 祭官 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人 口取 白丁一人 神馬 乙女 御太刀
- 神役一人 道祖神 神役一人 隨神 神矛 白丁一人 神役一人 指羽 白丁一人 祭官(佐那武大神) 神輿
- 白丁十二人 衣蓋 白丁三人 髮子 白丁一人 旗 白丁一人 神役一人 祭官 典禮 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人
- 典禮 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人 御旗 白丁一人 神役一人 祭官 傘持 白丁一人 沓持 白丁一人 口取

白丁一人 神馬 御太刀 神役一人 道祖神 神役一人 隨神 神矛 白丁一人 神役一人 指羽 白丁一人 祭官  
 (天照皇大神) 神輿 白丁十二人 衣蓋 白丁三人 童子 白丁一人 旗 白丁一人 神役一人 社司 騎馬口取 白丁一人  
 傘持 白丁一人 香持 白丁一人 從者一人 直垂 社掌 傘持 白丁一人 香持 白丁一人 祭官 傘持 白丁一人 香持  
 白丁一人 後驅祭官 傘持 白丁一人 香持 白丁一人 小仕 白丁一人 目籠 白丁二人 全上 全上 氏子各町旗  
 船玉御印旗 舢舨 獅子 祇園囃子等 警護消防一部

行列ニ加ハリシ山車、獅子、囃子等ハ海濱齋場ニ至リテ交互ニ神前ニ出テ、其技ヲ演セリ  
 神輿ノ假齋場ニ着御アリシハ正午時ニシテ此時煙火數發空中ニ轟キ供奉ノ人々齋場ニ參列シ午  
 後一時ニ至リ當日ノ祭式ハ嚴肅ニ舉行セラレタリ其次第左ノ如シ  
 一當日早旦神職神殿ヲ裝飾ス  
 午後一時齋主以下着座  
 次ニ齋主神前ニ進ミ拜禮畢テ復座  
 次ニ齋主祝詞ヲ奏ス  
 次ニ祠掌拜禮  
 次ニ氏子惣代玉串ヲ奉リ拜禮  
 次ニ傳供長以下神饌ヲ撤ス(此間奏樂)  
 次ニ齋主拜禮畢テ復座  
 祭式ノ終リシハ午後三時ニシテ此日參拜人最モ多ク町内雜沓ヲ極メタリ

上金石海濱齋場等ノ圖

(此外神寶物拜觀場及擊劔會場ハ上金石小學校内ニ能樂ハ秋葉社内ニテ舉行セリ)



字今町通

一日當日早日神職神殿ヲ裝飾ス

午後一時齋主以下着座

次ニ齋主神前ニ進ミ拜禮畢テ復座

次ニ齋主祝詞ヲ奏ス

次ニ祠掌拜禮

次ニ氏子惣代玉串ヲ奉リ拜禮

次ニ傳供長以下神饌ヲ撤ス(此間奏樂)

次ニ齋主拜禮畢テ復座

祭式ノ終リシハ午後三時ニシテ此日參拜人最モ多ク町内雜沓ヲ極メタリ

次ニ被主被ノ事ヲ修ス

次ニ傳供長以下神饌ヲ供ス(此間奏樂)

次ニ齋主玉串ヲ奉リ拜禮

次ニ祭官順次拜禮

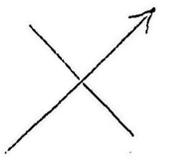
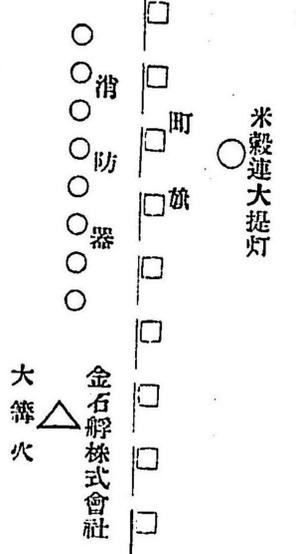
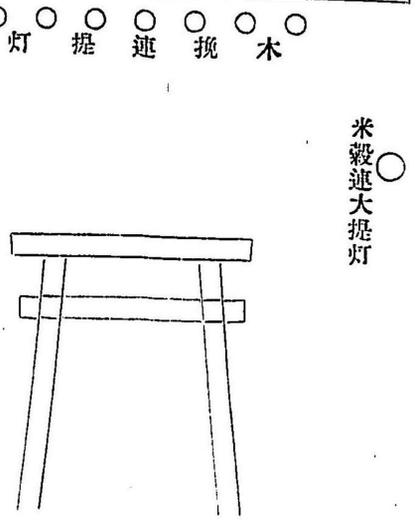
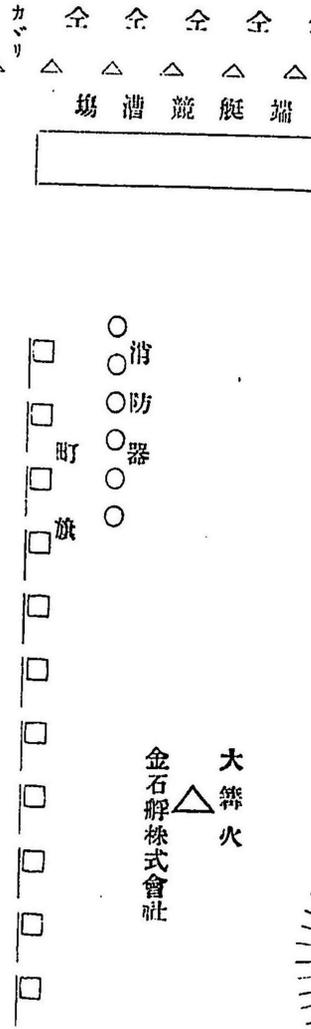
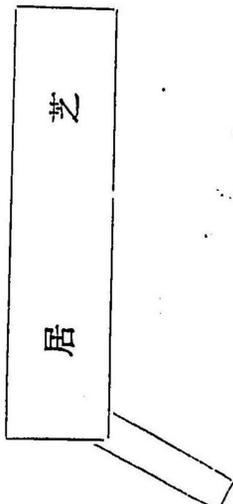
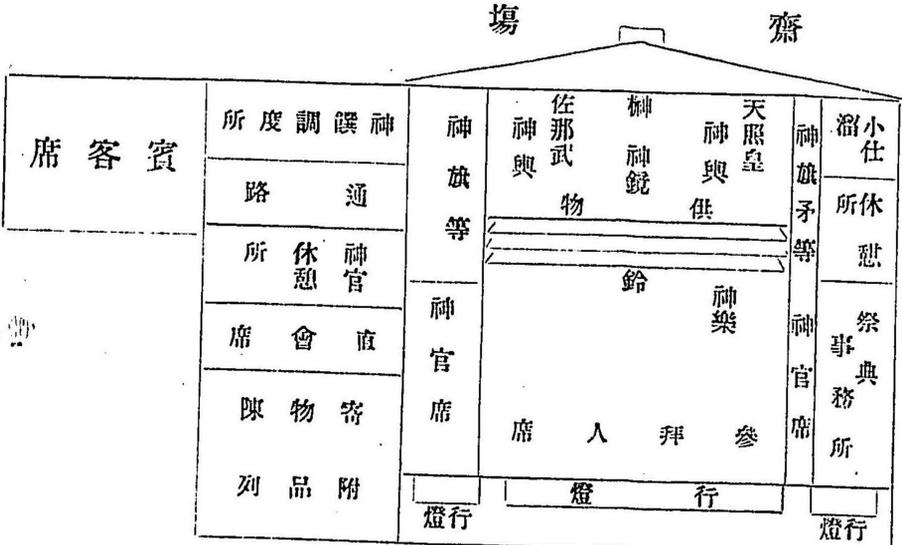
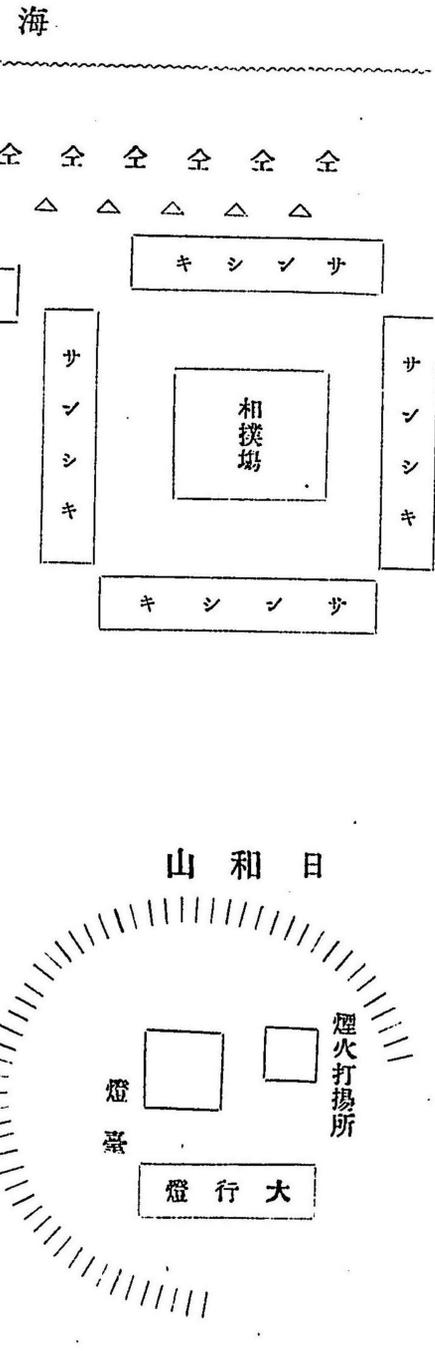
次ニ有志玉串ヲ奉リ拜禮

次ニ御間物ヲ進ム(此間奏樂)

次ニ齋主以下退座

上金石海濱齋場等ノ圖

(此外神寶物拜觀場及擊劔會場ハ上金石小學校内ニ能樂ハ秋葉社内ニテ舉行セリ)



字今町通

一 神寶物拜觀

維新前マテハ本社凡百ノ事一ニ藩侯ノ管理ニ屬シ從テ本社傳來ノ神寶モ神官ニ於テ分掌保管シ  
來リシカ廢藩ト共ニ藩ノ管理ヲ解キ神官モ亦々交迭罷免アリシカ爲メ散逸セシモノ多カルヘキ  
モ今其ノ所在ヲ尋ヌルニ由ナキハ實ニ遺憾ノ極ミナリ然レトモ幸ニ今ノ社司河崎氏ノ一家ノミ  
聯綿繼續シ爲メニ本社重要ノ神寶ハ幸ニ尙ホ存在セルヲ以テ此ノ臨時祭ヲ機トシ特ニ拜觀ヲ許  
スコト、シ調査委員ヲ設ケ河崎社司ト共ニ神庫秘藏ノ什寶ヲ調査シ以テ之レヲ展觀スルコト、  
セリ

會場ハ上金石小學校内ニシテ場内大別三區トシ第一區神寶物ニシテ其品類大概左ノ如シ

一 御繪旨 元弘三年七月十五日  
同 年七月二十日

貳 通

一 宣旨 寶永元年八月五日  
正一位大野濙神社加州河北郡大野濙

壹 通

一 高德公御書 天正十四年正月廿二日 御社領寄附

壹 通

同 年 月 日 産子村名附

壹 通

同 年 五月 二日 御制札(本紙欠)

一 瑞龍公本社御造營米石寄附御書

壹 通

一 微妙公寛永十五年御社領寄進御書

壹 通

一 利長公年頭御書

壹 通

一 微妙公御代御祈禱奉書

四 通



一箭 全上奉納

一箭 寶曆十四年 高芭氏奉納

一繪馬 古法眼筆

一制札

十 八 一 一  
隻 筋 面 面

第二區ハ古物展覽席ニシテ當町舊家ノ所藏ニ係ル古書画古器物百有餘點ヲ陳列セリ其品目ハ之ヲ略ス中ニ就キ前田利家公衣服一領同公及利長公利常公ノ消息ハ中山一衛氏ノ出品ニシテ錢屋五兵衛書跡一幅ハ清水與三八氏ノ出品タリ

第三區ハ插花席ニシテ草木ノ花數十瓶ヲ排列セリ當地ノ上田一廣園社中及二木宗次郎、池崎常照、村上入郎右衛門、一丸太作諸氏ノ催ニナレリ

右神寶物等ノ展覽ハ七月二十九日ヨリ三日間午前八時ヨリ午後四時マテ拜觀ヲ許シタリ拜觀人ハ大祭ノ徽章ヲ帶ヒタル者及神社ヨリ觀覽券ヲ受ケタルモノニ限レリ此三日間ニ拜觀人員ハ大凡八千人ニ及ヒタリ

一餘興及各町催物

其一 能樂ハ達田平兵衛、二木宗次郎氏等主任ニシテ役者ハ金澤能樂會ノ佐野吉之助、小竹才六竹田與八郎等ヲ聘シ大祭第二日午前八時ヨリ秋葉社拜殿ニ於テ行ハレタリ其番組ハ左ノ如ク當日ハ貴賓ノ來觀モアリ天氣モ快晴ニシテ觀客ハ社前立錐ノ地ナキニ至レリ

本社祭禮ニ能樂ヲ奏スルコト古來ノ典禮ニシテ往古ハ四月ノ列祭ニ大和舞ヲ奏セシニ戰國ノ頃

中絶セシナ前田利長公大聖寺攻メノ時戰勝ヲ祝シ諸橋氏ニ命シ氏ニ命シ永年能樂ヲ舞ハシメラレシハ吉例トナリ三百年ノ今日ニ至レルナリ今ヤ時世變遷セシモ佐野氏ハ諸橋氏ノ末流ニシテ尙其遺響ヲ存シ殊ニ今回ハ舊藩侯ノ支族ナル前田子爵ノ來觀アリシヲ見テ誰人モ座ロニ懷舊ノ情ニ堪ヘサルモノアリシ

能 番 組

- |       |           |           |
|-------|-----------|-----------|
| 小 銀 治 | 越 澤 彌 三 郎 | 殿 田 喜 三 郎 |
| 葵 ノ 上 | 佐 野 吉 之 助 | 藤 田 政 次 郎 |
| 鉢 ノ 木 | 小 竹 才 六   | 竹 田 與 八 郎 |
| 土 蜘蛛  | 鳴 原 清 兵 衛 | 殿 田 喜 三 郎 |
| 狂 言   |           |           |
| 八 幡 前 |           | 白 山 捨 吉   |
| 茶 壺   |           | 藤 江 又 喜   |
| 成 上 上 |           | 西 村 孝 作   |

其二 擊劔ハ大祭ノ初日ニ上金石小學校構内ニ假道場ヲ構ヘ清水桃吉、小竹瞭吉、岡田入市郎、相川小作等之ヲ擔任シ劔客ハ金澤市ヨリ山田龜太郎氏ノ周旋ニヨリ國下、青山二氏門弟等ヲ率



ヒテ來リ會シ二本勝負一本勝負紅白勝負等ヲ演シ優勝者へハ夫々賞品ヲ授ケタリ此亦終日縱覽人ハ四周ニ山ヲ築キタル如クナリシ

其三 相撲ハ橋場忠兵衛、平田庄次郎、羽喰仁太郎、紙三太郎、唐木與左衛門、不野榮次郎、河合三太郎、赤土和兵衛、野里與太郎、寺中佐吉等幹旋ニテ海濱神殿ノ北方ニ棧敷ヲ構ヘ大祭中興行セリ此興ハ毎年夏季例祭ニ於テモ催ス所ニシテ其起源何ノ頃ヨリ始マリシヤ知ルヘカラス蓋亦古例ナリ特ニ今回廣ク加能越ノ力士ヲ招キシニヨリ多クノ力士ヲ得テ頗ル盛況ヲ極メ從テ賞品モ特ニ意ヲ用ヒ大關ニハ化粧廻外數品ヲ賞シ關脇小結以下三人勝五人勝各厚ク金品ヲ附與シタリ而シテ此費用ハ多分有志ノ特別寄附ニ成リタリ此興行ニ於テ大關ノ榮ヲ得シハ西岐ケ爪村角島長太郎ニシテ將來例祭相撲世話掛ヲ委嘱シタリ

其四 漁船ノ競漕ニハ池森與作、加納勘吉、西川政二郎主任トナリ及羽喰仁太郎、寺中佐吉、福田佐兵衛、石見德三郎、三浦三右衛門、吉崎金藏、坂井善太郎、長沖吉兵衛、寺尾伊三郎、越田市耶右衛門、島本與兵衛、五色三次郎係員トシテ其他金石輝株式會社ノ海員中幹旋ニテ大祭第二日ニ演シタリ漕手北岸ノ漁人或ハ艇手ニシテ南ハ江沼能美北ハ河北ノ浦々ヨリ集リ來リ孰レモ無双巧手ニシテ神殿ノ後方渚ヲ起點トシテ號砲ヲ相圖ニ漕出シ初メハ船首ヲ並ヘシモ數丁ニシテ各船舶艦相啣ミ沖ノ方拾町ノ所ニ微職ヲ建テタル船アリ之レヲ一周シ來ル頃ニハ優劣次第ニ判レ一船一船ヨリ前ミ遂ニ勝敗ヲ決スルニ至ル其間陸上曷采ノ聲遠ク海上ニ響キ渡リテ實ニ壯快ヲ覺ヘタリ此興ヤ今回始メテ行ハレシ事トテ殊ニ觀客ノ目ヲ引キタリ是亦勝者ノ重ナルモノハ石

川笠間村字石立中村市三郎、河北内灘村守宮坂西田平太郎、同宇西荒屋山谷與太郎、上金石町ノ清水久太郎、岩見作太郎、金石輝株式會社海員不野榮次郎並野里與太郎、大野町川端伊三松並竹松與助等右ノ優勝者へハ夫々賞品ヲ授ケタリ

其五 芝居ハ亦毎年例祭ニ於テ古クヨリ興行シ來ルモノニシテ今回ハ若林與作氏ノ社中町内青年ノ催ニシテ祭禮中黄昏ヨリ始メ連夜夜ヲ徹シ觀客ハ一帶ノ廣キ沙濱ニ蟻集セリ演題ハ左ノ如クナリシ

鬼一法眼三略卷

菊島ノ場

神靈矢口渡

頼兵衛住家ノ場

本朝廿四孝

勘助物語ノ場

菅原傳授手習鑑

佐多村ノ場

近江源氏先陣館

佐々木盛綱首實檢ノ場

其六 煙火戲ハ平井清、唐三郎、岸本與八、伊藤端莊諸氏ノ主任ニシテ火手ハ金澤ノ國友、矢車等ナリ是亦祭禮中晝夜絶間ナク打上々々天上蛟龍躍リ雷電閃キ壯快云ハン方ナシ而シテ其費用多クハ町内有志特別寄附ニ成リタルナリ

又別ニ有聲會ノ催トシテ上田孫作、赤土佐一等主任トナリマグチシユム燈ヲ點セシハ恰モアーク燈ノ如ク光輝赫灼遙ニ海上ヲ照シタリ

其他流燈會アリ亦有志ノ催ニテ西川政二郎、今田與三松主任トナリ數千ノ燈火ハ渚ニ浮ヒ出テ

潮流ニ從ヒテ次第ニ北進シ遂ニ海上數里ノ沖ニ影ヲ没セシハ恰モ天漢ノ海面ニ横ハレルカ如クナリシ

其七 奉燈ハ全町舉テ不夜城ノ心地セラレタリ各町ノ軒提灯ハ一定ニ新調シ軒幕ヲ張り須濱ノ御紋ヲ染出セル小旗ヲ掲ケ花ヲ挿シ青葉ヲ挿ミ時ナラヌ春色ヲ呈シタリ今町ノ大宮行燈古河町ノ富士形提燈ハ例ニヨリテ遠望ヲ引キ日和山ノ大行燈ハ學校生徒ノ寄附ニナリ又直徑八尺餘ノ大走馬燈ハ金浦學友會ノ寄附ニナレリ其他各町ニ大行燈數多掲クルヲ見タリ

其八 本町ノ入口ニ建テ設ケラレタル大鳥居ハ高ク屋上ニ跨リ其構造ノ偉大ニシテ恰好ノ宜シキハ場所ト云ヒ意匠ト云ヒ催シ物ノ隨一トソ評シケリ

各町ノ山車ハ今回ノ祭禮ニ大修理ヲ加ヘテ一際目立チタリ即チ上濱町ノ兒嶋高德、横町ノ松前鐵之助、新町ノ武者等獅子面白ク曳キ出シ獅子舞ハ下本町、鐵砲町ノ麒麟、通町、上寺町等獅子ヲ始メ近村ニテハ寺中、普照寺、鷲ノ森、觀音堂、無量寺村ヨリ各々練出シ屋臺獅子ハ上濱町、御船町等ヨリ出テ其他願人坊、劍舞、惡魔拂等諸種ノ催シハ祭禮中町内ヲ練リ廻レリ且近村ヨリ來レル獅子連中ノ爲メニハ妙覺寺、專長寺等ヲ借受休憩所ヲ設ケタリ

一前田子爵ノ參拜 豫テ招戴セシ前田子爵、本多男爵、奥村男爵及前田侯爵家々扶松平康保氏ハ大祭第二日ニ參拜ノ旨通知ニヨリ有志惣代トシテ赤土亮、中山一衛ノ二氏ハ當朝金澤停車場ニ出迎ヒタリ同日午前九時當町へ着セラレ本龍寺ニテ休憩茶菓ノ饗チナシ直ニ上金石小學校ニ至リ神寶物等ヲ觀覽ノ後海濱ノ祭場ニ至リ祭式ニ列セラレシ後假屋ナル客室ニ請シ午餐ノ饗チナシ

是ヨリ漁船ノ競漕等ヲ覽ニ供シ最後ニ秋葉社ニ於テ能樂ヲ觀覽セラレタリ子爵ハ斯道ニ堪能ナルカ故ニ最其意ニ適ヒタリト見ヘ長時間足ヲ留メラレタリ午後六時復タヒ本龍寺ニ休憩ノ上歸路ニ就カレタリ此時亦赤土、中山ノ二氏停車場ニ見送チナセリ又當日子爵ハ學校へ立寄りアルカ爲メ學校ノ職員生徒共ニ郊端ニ送迎チナシタリ

附記 建碑除幕式並ニ例祭還御

一外征忠勇之碑ハ恰モ祭禮ノ第三日即チ七月三十一日ニ行ハレタリ碑ハ明治廿七八年征清ノ役ニ於テ郡内出役戰歿者ノ爲メニ石川郡内町村有志ノ寄附ニ成レルモノニシテ費額二千五百余圓碑石ハ御影石ニシテ高サ二十四尺方三尺礎石高サ三尺方六尺之ヲ八尺計ノ土臺ノ上ニ筑カレ總高サ三十五尺トシ町内秋葉社内ニ建設セラレタリ碑面ノ題字ハ 小松宮殿下ノ御揮毫ニシテ側面ニハ侯爵故前田利嗣公ノ碑銘アリ左ニ錄ス式ハ當朝碑前ニ於テ行ハル委員長石川郡長大庭忠規氏幕ヲ撤シ式辭ヲ朗讀シ委員上金石町長赤土亮氏建碑ノ報告チナシ郡内町村長有志及遺族者盡ク式場ニ參列シ嚴カニ祭式ヲ行ハレ其間軍隊樂ヲ奏シ又爆竹ヲ連發シ最盛況ヲ極メタリ

外征忠勇之碑銘

侯爵前田利嗣撰並書

維歲甲午 有事於清 延及乙未 荐發大兵 卓爾諸子 挺起從征 北戰南鬪 義重生輕

六師凱旋 闔郡荷榮 表其忠勇 豐碑勒名

一例祭ハ大祭ニ續キ後二百日間施行セラレ盛況例年ニ倍セリ末日ハ例ノ如ク還御ニ際リ神輿各町ヲ巡行セラル、コト、テ早朝ヨリ遠近群集セリ此巡行ニ際シ從來弊風トシテ神輿ヲ奉シテ動搖馳

驅危險ヲ極メシユト或ハ途上滑稽猥褻ノ催ヲナセシ如キ風俗ヲ乱スモノアリシカ此回ニ於テハ斷然其跡ヲ絶チシハ風紀上一大盛事トスルニ足レリ

五 經費ノ決算

今回舉行ノ臨時祭及例祭ノ經費決算ハ別ニ精算報告書アリテ收支細目ヲ明カニセリ祭禮施行ニ就キ始終繁忙ヲ極メシハ會計係員ニシテ安宅又吉、橋場忠兵衛、櫻井作太郎ノ三氏主任トシテ精確ニ出入ヲ監査セリ左ニ收支項目ヲ掲ケテ梗概ヲ知ラシム

收入ノ部

一金參千四百七拾五圓貳拾八錢貳厘

内 譯

金千七百圓參拾八錢參厘

金四百貳拾九圓五拾錢

金四百四拾壹圓拾五錢八厘

金五百六拾五圓六拾六錢六厘

金百九拾六圓五拾壹錢壹厘

金九圓參拾七錢參厘

金八拾貳圓〇四錢

金四拾六圓〇八錢

收入 總 高

本町外廿七ヶ字町課賦金

他國在任特志者等寄附金

金澤市及附近町村特志者寄附金

町内特志者寄附金

祭典中御賽錢等

祭典中秋葉社御賽錢

御供米袋入分白米拾壹俵賣拂代

御供米玄米八俵賣拂代

金貳圓八拾錢

金八拾五錢貳厘

金九拾壹錢九厘

支出ノ部

一金貳千八百拾八圓五拾四錢六厘

内 譯

金參百六拾壹圓五拾錢

金五拾八圓八拾貳錢貳厘

金千〇八拾壹圓五拾貳錢五厘

金百八拾八圓五拾錢

金百八拾貳圓五拾四錢八厘

金參拾圓四拾壹錢八厘

金參拾貳圓九拾錢五厘

金六拾八圓九拾參錢六厘

金拾七圓八拾參錢八厘

金拾八圓拾錢

金貳圓五拾八錢

支出 總 高

神酒壹斗四升賣拂代

錫 賣 拂 代

紀念品配當ノ際御賽錢

神官謝儀及賄料直會費

神饌及調度品

神器祭具社司祭服新調及修繕

御假殿新築及備品費

紀 念 品 費

神寶物展覽會費

大工等 工料

木材板櫃高札寄附揭示札等費

三新聞廣告料

印 刷 費

事務所備品費

金百六拾參圓〇五錢

金拾四圓貳拾貳錢參厘

金拾六圓八拾四錢四厘

金拾五圓拾錢五厘

金參百貳拾八圓貳拾錢

金四拾四圓參拾六錢

金百五拾九圓九拾錢五厘

金參拾參圓拾八錢七厘

一金六百五拾六圓七拾參錢六厘

右ノ外神器祭具ノ現品ヲ以テ寄附セラレシモノ五拾餘點及神役御道具持神馬口取其他手傳セラレシ人々ハ總テ精算書ニアレハ此ニ之ヲ畧ス

待遇費

料紙筆墨費

炭油費

郵稅

餘興補助費

報酬

人夫雇費

諸雜費

收支差引剩餘金

神寶物目錄

第一號 一後醍醐天皇 元弘三年七月拾五日 繪旨 貳 通

第二號 一北條貞時判斷狀 壹 通

第三號 一瑞龍公當社御造營米貳拾石御寄附之直書 壹 通

第四號 一微妙公寬永拾五年拾二月拾一日御社領等之御判 壹 通

第五號 一高德公天正拾四年正月廿二日御社領御寄附同年同月日産子村附五月二日御判札之御印物 三 通

第六號 一肥前様御書 壹 通

第七號 一御神事能一件之書狀 拾壹 通

御領國勸化押紙面貳通 帳面壹冊 改六冊

第八號 一萬治年中御目附衆社參一件之書狀 壹 通

第九號 一微妙公御代御祈禱被仰附奉書等 四 通

第十號 一微妙公御伏御札等献上目錄御印物 九 通

第十一號 一齋箱御寄附一件 貳 通

第十二號 一湯立一件之書狀外ニ御高札一件書狀等 貳 通

第十三號 一鳥居官橋並ニ御供水一件之書狀 壹 通

第十四號 一郷社辞令書明治五壬申年十一月二日 壹 通

第十五號 一縣社辞令書明治拾二年十一月十一日 壹 通

第十六號 一微妙公富由善左衛門宛所ニテ被成下蝶之御印物 四 通

第拾七號 一御印物 貳通  
 第拾八號 一御祈禱御尋之書狀 拾壹通  
 第拾九號 一當社兩神主被仰附始末書等古文書 拾壹通  
 第二拾號 一羽車圖 一葉  
 第二拾一號 一神社へ之奉書類  
 第二拾二號 一東照宮一件之書類  
 第二拾三號 一弓之書  
 第二拾四號 一宣言  
 第二拾五號 一中納言様御印物 壹通  
 第二拾六號 一微妙公御印物 壹通

第二拾七號 一大納言御息女之書 九葉  
 第二拾八號 一當社之證文 四通  
 第二拾九號 一信田屏風之記 壹卷  
 一笈搜追加之記 壹卷  
 第三拾號 一信田屏風之記寫 但壹箱  
 第三拾一號 一笈搜追加之記寫 壹卷  
 第三拾二號 一位記 三卷  
 第三拾三號 一源九郎義經夜明シ之圖 五葉  
 第三拾四號 一御判物等 七通  
 以上

第壹號 一羽車 貳社  
 第二號 一猿太彦面 壹  
 第三號 一黑色翁面 壹  
 第四號 一白色翁面 壹  
 第五號 一白木天狗面 壹  
 第六號 一朱塗天狗面 壹  
 第七號 一同面 壹  
 第八號 以上  
 第壹號 一元信筆馬の額 壹

第二號 一三拾六歌仙額 三拾三  
 第三號 一松澤氏筆  
 第四號 一佐那武大明神額 延寶五年六月 壹  
 第五號 一佐那武大明神額 貞享甲子年六月廿三日 壹  
 第六號 一天照皇大神宮額 壹  
 第七號 一虫喰小額 壹  
 第八號 一天照皇大神宮小額 壹  
 一佐那武大神宮小額 壹  
 以上  
 第一號 一兜 壹

第二號 一具足 但 壹箱  
 第三號 一陣羽織 壹  
 第四號 一木造炮 壹  
 第五號 一金色ノ墨坪 壹  
 棟上式 外弓矢一拵  
 第六號 一矢 但 壹併  
 但矢台共  
 第七號 一弓袋入 壹併  
 第八號 一矢拾二本桐箱入 壹箱  
 以上  
 第一號 一赤黒卷塗太刀 壹

第二號 一同 壹  
 第三號 一同 壹  
 第四號 一白サヤ太刀 壹  
 第五號 一節太刀 壹  
 以上  
 第一號 微妙公御寄附 拾箱入  
 一槍造農具雛形一切  
 第二號 同  
 第三號 一槍造機具雛形一切  
 第四號 一木製瓶子 貳  
 一棟上式掛矢 壹  
 以上

第一號 一柱立札 寬永拾八年 肥前守利常郷 壹  
 卯八月  
 第二號 一棟札 元文四年末三月 壹  
 第三號 一前田侯先代御名札 壹  
 第四號 一璽箱覆 四  
 以上  
 第一號 第二號 第三號 一木製古仙像 三  
 第四號 一古像 但 壹箱 壹  
 但 壹箱  
 以上 八幡宅ニ納  
 第一號 一磨利支天掛軸 寄附主 堀井信二 壹

明治三拾四年七月廿九日調査

日革新日改良日何日何今代之流行文字而事物之變更未有甚於此時者也而其新者未必善於舊者况乎冠婚喪祭之事依古例遵舊慣各國皆然我邦自古祭政一致朝廷置式部官祭儀一依古例未嘗有變更也廷儀已然至縣鄉神社遵守古例固爲當然也我大野湊神社延喜式所載創始實在千二百年前爾來大小祭儀古例之存而至今者非少焉眞爲可敬也今茲舉行千二百年大祭亦古例也而方今日新之時百事改革或恐其可存者亦遂歸烏有焉乃錄大祭之顛末附之古文類聚之後印刷以頒有志者欲使後之修神事者有所考焉耳

明治三十四年十月吉日

小原恒貞識

明治參拾五年五月廿四日印刷  
明治參拾五年五月十六日發行

(非賣品)

編輯者

石川縣石川郡上金石町字本町四拾八番地

赤土文七

發行者

石川縣石川郡上金石町字本町四拾番地

櫻井作太郎

印刷者

石川縣金澤市備中町七拾番地

河內山唯次郎

印刷所

石川縣金澤市拾間町壹番地

金澤商況社



20
108

20  
108

